

第13期

運用報告書(全体版)

ワールド・ソブリンインカム (1年決算型) (愛称 十二単衣(1年決算型))

【2021年9月27日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「ワールド・ソブリンインカム(1年決算型)
(愛称 十二単衣(1年決算型))」は、2021年9月27
日に第13期決算を迎えましたので、期中の運用状況な
らびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し
上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2008年10月15日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債(国債および政府保証債等)に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債(国債および政府保証債等)を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年9月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。(ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益(評価益を含みます。)を含みません。)分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	円	%	ポイント	%	%	百万円
9期(2017年9月25日)	12,431	100	10.1	421.78	9.0	97.0	—	82
10期(2018年9月25日)	12,053	100	△2.2	416.87	△1.2	94.0	—	103
11期(2019年9月25日)	11,847	100	△0.9	430.03	3.2	94.9	—	202
12期(2020年9月25日)	12,163	100	3.5	446.34	3.8	87.7	—	524
13期(2021年9月27日)	12,234	100	1.4	459.14	2.9	88.0	—	497

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首) 2020年9月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	12,163	—	446.34	—	87.7	—
9月末	12,241	0.6	449.36	0.7	86.7	—
10月末	12,022	△1.2	444.22	△0.5	91.4	—
11月末	12,143	△0.2	448.09	0.4	95.9	—
12月末	12,222	0.5	451.23	1.1	89.5	—
2021年1月末	12,209	0.4	450.23	0.9	87.5	—
2月末	12,063	△0.8	447.85	0.3	94.2	—
3月末	12,281	1.0	453.78	1.7	89.5	—
4月末	12,267	0.9	455.16	2.0	92.8	—
5月末	12,397	1.9	460.85	3.3	92.4	—
6月末	12,404	2.0	459.60	3.0	89.7	—
7月末	12,456	2.4	463.39	3.8	94.0	—
8月末	12,464	2.5	462.75	3.7	95.0	—
(期末) 2021年9月27日	12,334	1.4	459.14	2.9	88.0	—

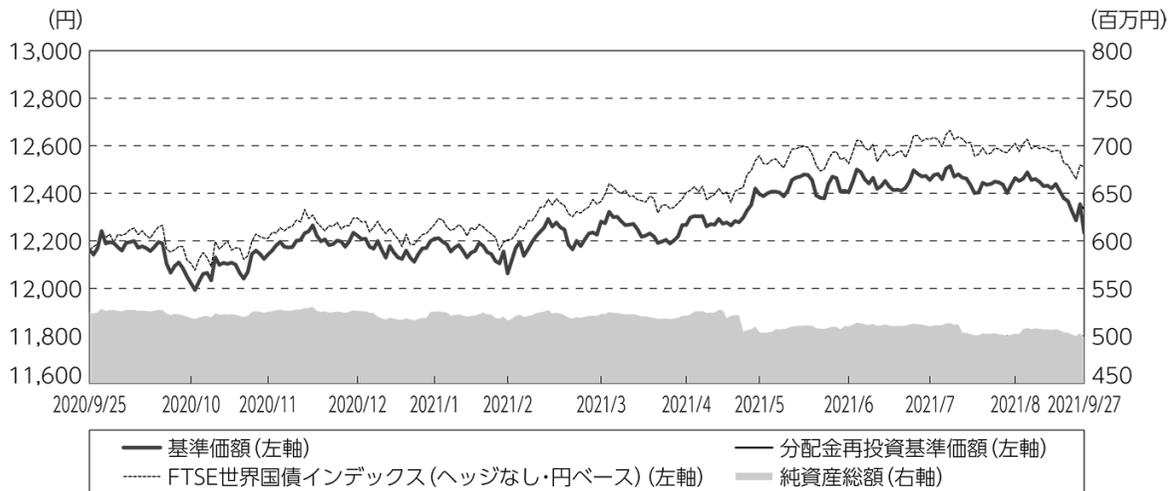
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2020年9月26日～2021年9月27日）



期首：12,163円

期末：12,234円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：1.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2020年9月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・全ての投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米国を筆頭にイタリアを除く投資国の債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。

投資環境

（2020年9月26日～2021年9月27日）

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、景気回復局面が続いたことや、2020年11月の米国の大統領選挙後に世界的な株高が進行したことを受けて、2020年中は債券利回りが総じて緩やかに上昇（価格は下落）しました。ただ、ユーロ圏では、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどから、利回り上昇が抑制される展開が続きました。2021年に入ると、米国において大規模な追加経済対策が成立するとの見通しが強まったことや、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を受けて経済活動の正常化への期待が高まったことから、米国を中心に投資国の債券利回りの上昇基調が鮮明となりました。しかし、4月以降は、景気回復と利上げを先行して織り込んだ反動に加え、新型コロナウイルスの変異株（デルタ株）の世界的な感染拡大や、中国を筆頭に世界経済の回復ペース鈍化への懸念が徐々に高まったことを受けて、投資国の債券利回りは総じて低下（価格は上昇）基調となりました。その後、9月に入ると、欧州中央銀行（ECB）や米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和策の縮小が警戒され、期末にかけて投資国の債券利回りが急上昇する展開となりました。当期における投資国の10年国債利回りは、小幅な低下となったイタリアを除き全ての投資国で上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では、FRBが金融緩和策を長期間維持するとの見方が強かったことに加え、米国の大統領選挙後に世界的な株高が進行したことを受けて、2020年中は米ドルと円が総じて軟調に推移する展開となりました。この過程では、米ドルに対し小幅な円高となる一方、米ドル以外の投資通貨に対しては円安傾向となりました。2021年に入ると、世界的に債券利回りの上昇基調が鮮明となり、内外金利差が拡大（一部の国に対しては、内外金利差のマイナス幅が縮小）したことを受けて、投資通貨に対し円が全面安の展開となりました。その後も、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展に伴う経済活動の正常化への期待などを背景に、6月中旬までは総じて円安基調が続きました。しかしその後は、FRBによる金融緩和策の縮小が意識される中、円を除く投資通貨に対し米ドルの上昇圧力が強まる展開となり、米ドルは対円で狭いレンジ内でもみ合いに終始する一方、米ドル以外の投資通貨に対しては円高が進行しました。9月中旬には、中国の不動産開発大手の信用不安を背景に、リスク回避の買いが優勢となる場面も見られましたが、海外の債券利回りが上昇に転じたことを受けて、期末にかけては投資通貨に対し円売りが優勢となりました。当期においては、イギリスポンドを筆頭に全ての投資通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2020年9月26日～2021年9月27日）

＜ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））＞

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

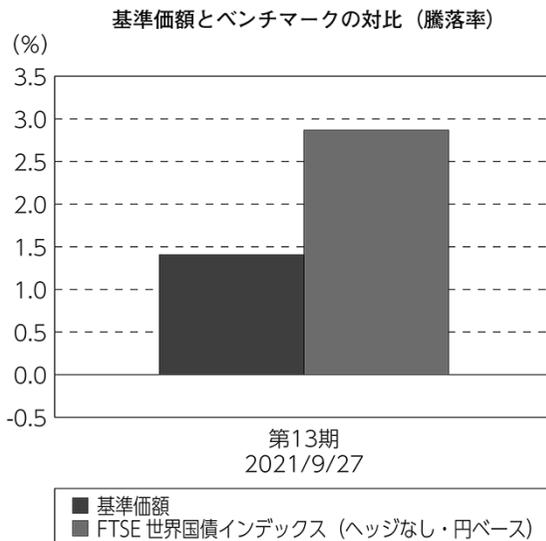
8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.75年～8.78年の範囲内での推移となり、期末は8.12年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は78.5%～93.6%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高め、円とユーロは低め、米ドルは概ね同程度となりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年9月26日～2021年9月27日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.5%下回りました。債券要因では、イタリアを除く投資国の長期債利回りが上昇する中で、ベンチマークと比較し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションを短めに推移させましたが、国別の配分やデュレーション戦略が十分に機能せず、ベンチマークのパフォーマンスを下回る結果となりました。為替要因では、ベンチマークと比較し、オーストラリアドルを筆頭に外貨の投資比率を高めて推移させたことがプラスに寄与しました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

（2020年9月26日～2021年9月27日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利息・配当収入等の全額としております。

当期間におきましては、期末に1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第13期
	2020年9月26日～ 2021年9月27日
当期分配金	100
（対基準価額比率）	0.811%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,214

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、FRBなど多くの中央銀行が金融緩和策の縮小に前向きな姿勢を示していることから、2021年末に向けて緩やかな利回り上昇が進行する可能性が高いと考えています。一方、中国当局が不動産セクターへの引き締め姿勢を維持する中で中国経済の減速懸念が残るなど、世界経済の先行きに対する不透明感が強いことが、投資国の債券利回りの上昇を抑制する要因として働くと見えています。

為替市場では、中国の不動産大手、中国恒大集団の信用不安への懸念が残されているものの、現状では同社の問題が世界的な金融システム不安につながるリスクは低く、為替市場全般への影響は限定的と判断しています。このため、市場全般の落ち着きとともに、日本を除く主要中央銀行の金融緩和の縮小が意識され、緩やかな円安局面へ移行していく展開が想定されます。一方、中国当局は不動産セクターへの引き締め姿勢を維持していることから、中国経済の減速局面が長期化することにより、世界経済全般への波及を通じて為替市場に影響を与えるリスクには留意が必要と判断しています。

（運用方針）

<ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2020年9月26日～2021年9月27日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	142	1.161	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(41)	(0.332)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(95)	(0.774)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.016	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	144	1.177	
期中の平均基準価額は、12,264円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

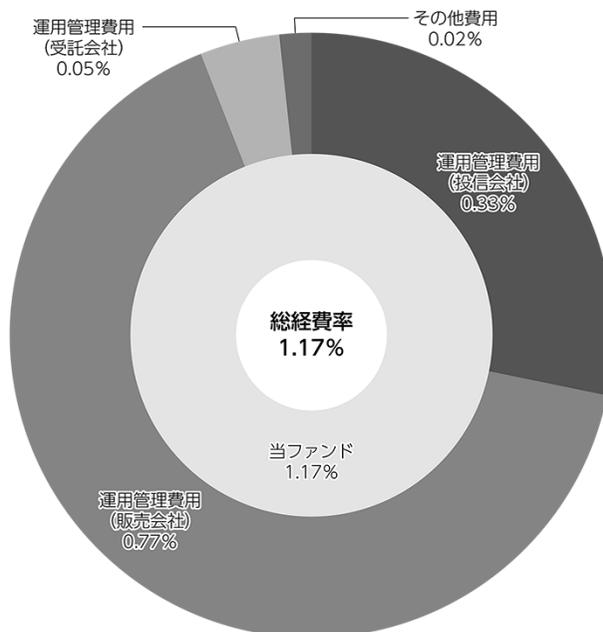
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年9月26日～2021年9月27日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	千口 10,902	千円 22,896	千口 29,895	千円 62,629

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年9月26日～2021年9月27日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））>

該当事項はございません。

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	百万円 141,345	百万円 2,502	% 1.8	百万円 142,666	百万円 999	% 0.7

平均保有割合 0.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

（注）公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

（2021年9月27日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	千口 253,913	千口 234,920	千円 495,447

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2021年9月27日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 495,447	% 98.1
コール・ローン等、その他	9,507	1.9
投資信託財産総額	504,954	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（64,646,545千円）の投資信託財産総額（77,378,949千円）に対する比率は83.5%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝110.75円、1カナダドル＝87.63円、1ユーロ＝129.80円、1イギリスポンド＝151.46円、1オーストラリアドル＝80.59円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年9月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	504,954,124
コール・ローン等	9,506,917
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(評価額)	495,447,207
(B) 負債	7,099,350
未払収益分配金	4,069,364
未払信託報酬	3,015,652
未払利息	3
その他未払費用	14,331
(C) 純資産総額(A-B)	497,854,774
元本	406,936,475
次期繰越損益金	90,918,299
(D) 受益権総口数	406,936,475口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,234円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,2234円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は431,198,163円、期中追加設定元本額は31,785,086円、期中一部解約元本額は56,046,774円です。

○損益の状況（2020年9月26日～2021年9月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 778
受取利息	22
支払利息	△ 800
(B) 有価証券売買損益	12,602,042
売買益	13,344,366
売買損	△ 742,324
(C) 信託報酬等	△ 6,040,259
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,561,005
(E) 前期繰越損益金	5,155,323
(F) 追加信託差損益金	83,271,335
(配当等相当額)	(158,177,650)
(売買損益相当額)	(△ 74,906,315)
(G) 計(D+E+F)	94,987,663
(H) 収益分配金	△ 4,069,364
次期繰越損益金(G+H)	90,918,299
追加信託差損益金	83,271,335
(配当等相当額)	(158,241,452)
(売買損益相当額)	(△ 74,970,117)
分配準備積立金	13,678,355
繰越損益金	△ 6,031,391

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第13期
(a) 配当等収益(費用控除後)	8,117,194円
(b) 収益調整金中のその他収益調整金	158,241,452円
(c) 分配準備積立金中の配当等収益	9,208,945円
分配対象収益(a+b+c)	175,567,591円
分配対象収益(1万口当たり)	4,314円
分配金額	4,069,364円
分配金額(1万口当たり)	100円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	100円
支払開始日	2021年10月1日（金）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

〈お知らせ〉

先進国のソブリン債の流動性等を考慮した結果、信託財産留保額を撤廃しても受益者の皆さまに不利益をもたらすものではないと判断したため、信託財産留保額を廃止するための約款変更を行いました。（実施日：2020年12月23日）

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2021年9月27日現在）

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

下記は、ワールド・ソブリンインカム マザーファンド全体(36,690,558千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	4,500,000	4,506,855	5.8	—	5.8	—	—	
合 計	4,500,000	4,506,855	5.8	—	5.8	—	—	

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第363回利付国債（10年）	0.1	2,500,000	2,512,075	2031/6/20
第173回利付国債（20年）	0.4	2,000,000	1,994,780	2040/6/20
合 計		4,500,000	4,506,855	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	235,000	257,751	28,545,942	36.9	—	29.7	—	7.2
カナダ	千カナダドル 19,000	千カナダドル 19,775	1,732,938	2.2	—	0.8	1.4	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	31,000	39,109	5,076,452	6.6	—	4.8	1.8	—
イタリア	72,000	76,140	9,883,055	12.8	—	6.8	2.0	4.0
フランス	52,000	62,648	8,131,806	10.5	—	8.4	2.1	—
イギリス	千イギリスポンド 40,000	千イギリスポンド 50,992	7,723,331	10.0	—	4.8	5.2	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 34,000	千オーストラリアドル 35,096	2,828,459	3.7	—	3.7	—	—
合 計	—	—	63,921,985	82.6	—	58.9	12.5	11.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US TREASURY N/B 1.625	1.625	15,000	15,260	1,690,062	2031/5/15	
	US TREASURY N/B 1.75	1.75	19,000	19,611	2,171,980	2029/11/15	
	US TREASURY N/B 2	2.0	5,000	5,015	555,480	2051/8/15	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	41,000	43,626	4,831,641	2027/2/15	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	25,000	26,386	2,922,329	2041/5/15	
	US TREASURY N/B 2.375	2.375	47,000	51,178	5,668,029	2051/5/15	
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	33,000	46,205	5,117,221	2030/5/15	
	US TREASURY N/B 8	8.0	50,000	50,466	5,589,197	2021/11/15	
小 計					28,545,942		
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	7,000	7,155	627,033	2051/12/1	
	CANADA-GOV'T 2.25	2.25	12,000	12,620	1,105,904	2025/6/1	
小 計					1,732,938		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 1.25	1.25	14,000	17,783	2,308,280	2048/8/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	8,000	10,891	1,413,760	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	9,000	10,434	1,354,411	2024/1/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.9	0.9	40,000	40,604	5,270,503	2031/4/1
		BTPS 4.5	4.5	22,000	23,748	3,082,534	2023/5/1
		BTPS 5	5.0	10,000	11,787	1,530,017	2025/3/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	10,000	11,665	1,514,117	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	6,000	7,342	953,048	2030/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	26,000	30,947	4,017,024	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	10,000	12,693	1,647,616	2025/10/25
小 計					23,091,313		
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	10,000	14,976	2,268,264	2039/9/7	
	UK TSY GILT 4.75	4.75	7,000	9,421	1,427,003	2030/12/7	
	UK TSY GILT 5	5.0	23,000	26,594	4,028,063	2025/3/7	
小 計					7,723,331		
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1.5	1.5	30,000	30,353	2,446,204	2031/6/21	
	AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	4,000	4,743	382,254	2039/6/21	
小 計					2,828,459		
合 計					63,921,985		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第19期 運用状況のご報告
決算日：2021年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
15期(2017年3月27日)	18,209	△5.2	397.19	△3.5	85.2	—	92,361
16期(2018年3月26日)	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—	83,339
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051
18期(2020年3月25日)	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—	90,359
19期(2021年3月25日)	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—	84,082

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

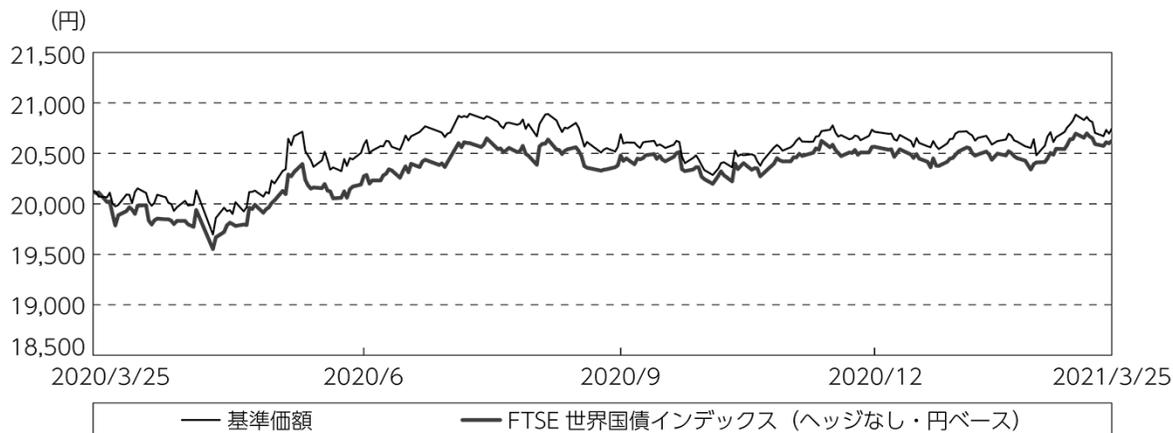
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2020年3月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	20,125	—	441.57	—	94.3	—
3月末	20,111	△0.1	439.41	△0.5	94.1	—
4月末	19,991	△0.7	433.84	△1.8	95.1	—
5月末	20,204	0.4	439.57	△0.5	94.3	—
6月末	20,586	2.3	444.88	0.7	92.6	—
7月末	20,708	2.9	449.00	1.7	89.3	—
8月末	20,670	2.7	447.34	1.3	88.0	—
9月末	20,689	2.8	449.36	1.8	87.2	—
10月末	20,336	1.0	444.22	0.6	91.9	—
11月末	20,562	2.2	448.09	1.5	96.5	—
12月末	20,716	2.9	451.23	2.2	90.0	—
2021年1月末	20,714	2.9	450.23	2.0	87.9	—
2月末	20,483	1.8	447.85	1.4	94.7	—
(期末) 2021年3月25日	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年3月26日～2021年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) です。

(注) ベンチマークは、期首 (2020年3月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・フランスとイタリアの長期債利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したこと。
- ・米ドルを除く投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロ圏を除く投資国の長期債利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。
- ・米ドルが対円で下落したこと。

投資環境

(2020年3月26日～2021年3月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、前期末にかけて多くの中央銀行が利下げや量的緩和（国債等の資産を購入し市場に資金を供給する政策）による金融緩和を実施したことから、利回りが低下（価格は上昇）してスタートしました。その後も各国の債券利回りは総じて低位での推移となりましたが、徐々に景気回復の動きが強まったことや、2020年11月の米国の大統領選挙後に世界的な株高が進行したことを受けて、年末に向けて債券利回りは緩やかに上昇（価格は下落）しました。2021年に入ると、米国において大規模な追加経済対策が成立するとの見通しが強まったことや、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を受けて経済活動の正常化への期待が高まったことから、米国を中心に投資国の債券利回りの上昇基調が鮮明となりました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、ユーロ圏の投資国を除き上昇しました。ユーロ圏においては、欧州中央銀行（ECB）がパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）による資産購入を継続したことや、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどが、利回り低下要因となりました。特に、イタリアに関しては、欧州連合（EU）首脳会議での復興基金の創設合意やドラギ前ECB総裁の首相就任もサポート要因となり、大幅な利回り低下となりました。

＜為替市場＞

為替市場では、主要先進国の強力な金融・財政政策に支えられ、世界的に株価が戻り歩調となったことや、徐々に景気回復の動きが強まったことから、投資家のリスク選好の動きが優勢となり、2020年中は米ドル以外の投資通貨が対円で堅調に推移しました。一方、米ドルに関しては、米連邦準備制度理事会（FRB）が現在の金融緩和策を長期間維持するとの見方を背景に、対円で軟調な推移が続きました。しかし、2021年に入ると、世界的に債券利回りの上昇基調が鮮明となり、内外金利差が拡大（一部の国に対しては、内外金利差のマイナス幅が縮小）したことを受けて、投資通貨全般が対円で堅調に推移しました。この結果、当期においては、米ドルが対円で小幅に下落した以外は、オーストラリアドルを筆頭に全ての投資通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年3月26日～2021年3月25日)

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション*を変化させました。デュレーションは、6.17年～8.86年の範囲内での推移となり、期末は8.47年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は78.5%～95.8%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、円、ユーロが低め、米ドルが同程度、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年3月26日～2021年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.6%上回りました。債券要因では、ユーロ圏を除く投資国の長期債利回りが上昇する中で、ベンチマークと比較し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションを短めに推移させましたが、国別の配分やデュレーション戦略が十分に機能せず、ベンチマークのパフォーマンスを下回る結果となりました。為替要因では、ベンチマークと比較し、オーストラリアドルを筆頭に外貨の投資比率を高めで推移させたことがプラスに寄与しました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、世界的な新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や米国における大規模な経済対策法案の成立等を背景に、2021年の年明け以降米国を中心に各国の長期債利回りが大幅に上昇しました。ただ、先行きの景気回復と利上げが概ね市場に織り込まれていると思われることや、ECBが長期債利回りの上昇を抑制する姿勢を鮮明にしていることから、当面債券利回りの上昇圧力は和らぐ可能性が高いと見ています。一方、今後各投資国のインフレ率の上昇が予想される中で、景気回復ペースの加速を示唆する経済指標の発表が続いた場合は、再び投資国の長期債利回りが上昇に向かう展開になると考えています。

為替市場では、2021年に入り各投資国の金利動向と各通貨のパフォーマンスとの相関が高まっています。相対的に日本の金利変動幅が小さいことから、世界的な金利上昇局面では内外金利差が拡大し円安が進行しやすいと思われます。また、海外金利の大幅な上昇を受けて、市場参加者の中期的な見通しが大きく変化しており、今後も米国主導の世界的な景気回復基調が続く中では、対米ドル中心に円安地合いが継続する可能性が高いと判断しています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年3月26日～2021年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.012	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、20,480円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2020年3月26日～2021年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 14,049,535	千円 13,530,370
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 677,574	千米ドル 548,313 (101,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 384,666	千カナダドル 425,049
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	78,308	131,755
	イタリア	国債証券	248,746	203,407
	フランス	国債証券	33,001	31,522
	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 82,543	千イギリスポンド 107,369
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 649,326	千オーストラリアドル 715,017

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月26日～2021年3月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 220,969	百万円 2,502	% 1.1	百万円 220,070	百万円 999	% 0.5

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2021年3月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 6,500,000	千円 6,511,280	% 7.7	% —	% 7.7	% —	% —	
合 計	6,500,000	6,511,280	7.7	—	7.7	—	—	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第357回利付国債 (10年)	0.1	2,000,000	2,012,180	2029/12/20
第359回利付国債 (10年)	0.1	3,000,000	3,012,390	2030/6/20
第173回利付国債 (20年)	0.4	1,500,000	1,486,710	2040/6/20
合 計		6,500,000	6,511,280	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末								
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
アメリカ	千米ドル 299,000	千米ドル 308,742	千円 33,615,866	% 40.0	% —	% 30.6	% —	% 9.4	
カナダ	千カナダドル 28,000	千カナダドル 28,501	2,467,924	2.9	—	1.4	—	1.6	
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ							
	ドイツ	25,000	32,253	4,149,448	4.9	—	3.3	1.6	—
	イタリア	66,000	70,903	9,121,681	10.8	—	6.3	4.5	—
	フランス	74,000	88,941	11,442,307	13.6	—	11.6	2.0	—
イギリス	千イギリスポンド 27,000	千イギリスポンド 37,865	5,644,632	6.7	—	6.0	—	0.7	
オーストラリア	千オーストラリアドル 31,000	千オーストラリアドル 32,209	2,663,372	3.2	—	3.2	—	—	
合 計	—	—	69,105,232	82.2	—	62.3	8.2	11.7	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末					
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
					外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円			
	国債証券	US TREASURY N/B 1.5	1.5	22,000	21,962	2,391,242	2030/2/15	
		US TREASURY N/B 1.625	1.625	52,000	44,273	4,820,457	2050/11/15	
		US TREASURY N/B 1.75	1.75	48,000	49,072	5,343,013	2029/11/15	
		US TREASURY N/B 1.875	1.875	30,000	27,173	2,958,643	2051/2/15	
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	20,000	21,398	2,329,861	2026/3/31	
		US TREASURY N/B 2.25	2.25	24,000	25,663	2,794,201	2027/2/15	
		US TREASURY N/B 6.25	6.25	33,000	46,478	5,060,572	2030/5/15	
		US TREASURY N/B 8	8.0	50,000	52,507	5,717,050	2021/11/15	
		US TREASURY N/B 8.125	8.125	20,000	20,213	2,200,822	2021/5/15	
小	計					33,615,866		
カナダ				千カナダドル	千カナダドル			
	国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	13,000	13,234	1,145,954	2051/12/1	
		CANADA-GOV'T 9.75	9.75	15,000	15,267	1,321,969	2021/6/1	
小	計					2,467,924		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ			
	ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 1.25	1.25	8,000	10,307	1,326,072	2048/8/15
			DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	8,000	11,177	1,438,008	2028/7/4
			DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	9,000	10,768	1,385,367	2024/1/4

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア	国債証券	BTPS 0.9	0.9	40,000	41,203	5,300,791	2031/4/1
		BTPS 4.5	4.5	16,000	17,655	2,271,403	2023/5/1
		BTPS 5	5.0	10,000	12,044	1,549,486	2025/3/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 0.5	0.5	11,000	11,682	1,502,988	2029/5/25
		FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	15,000	18,117	2,330,790	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	38,000	46,067	5,926,571	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	10,000	13,073	1,681,957	2025/10/25
小 計						24,713,437	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	16,000	24,191	3,606,253	2039/9/7
		UK TSY GILT 4.75	4.75	7,000	9,609	1,432,450	2030/12/7
		UK TSY GILT 8	8.0	4,000	4,064	605,927	2021/6/7
小 計						5,644,632	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1.5	1.5	20,000	19,694	1,628,513	2031/6/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	11,000	12,514	1,034,858	2039/6/21
小 計						2,663,372	
合 計						69,105,232	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	75,616,512	87.6
コール・ローン等、その他	10,750,988	12.4
投資信託財産総額	86,367,500	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (76,170,434千円) の投資信託財産総額 (86,367,500千円) に対する比率は88.2%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=108.88円、1カナダドル=86.59円、1ユーロ=128.65円、1イギリスポンド=149.07円、1オーストラリアドル=82.69円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	92,683,362,113
コール・ローン等	1,496,240,405
公社債(評価額)	75,616,512,375
未収入金	14,753,421,523
未収利息	652,555,303
前払費用	164,632,507
(B) 負債	8,601,125,950
未払金	8,601,081,071
未払利息	566
その他未払費用	44,313
(C) 純資産総額(A-B)	84,082,236,163
元本	40,534,004,851
次期繰越損益金	43,548,231,312
(D) 受益権総口数	40,534,004,851口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,744円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.0744円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は44,898,697,912円、期中追加設定元本額は533,158,504円、期中一部解約元本額は4,897,851,565円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)	39,071,371,626円
Wソブリン毎月分配型 (一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	586,248,539円
私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用)	352,911,389円
ワールド・ソブリンインカム (1年決算型)	249,485,941円
ソブリンオープン (適格機関投資家専用)	124,612,808円
私募ソブリン07-04 (適格機関投資家専用)	98,200,603円
DCワールド・ソブリンインカム	51,173,945円

○損益の状況 (2020年3月26日～2021年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,747,437,924
受取利息	2,748,740,402
その他収益金	336,879
支払利息	△ 1,639,357
(B) 有価証券売買損益	△ 21,847,152
売買益	6,861,120,896
売買損	△ 6,882,968,048
(C) その他費用等	△ 10,551,704
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,715,039,068
(E) 前期繰越損益金	45,460,965,264
(F) 追加信託差損益金	537,629,337
(G) 解約差損益金	△ 5,165,402,357
(H) 計(D+E+F+G)	43,548,231,312
次期繰越損益金(H)	43,548,231,312

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。

<当ファンドのベンチマークについて>

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。